

レース成績表の見方について

レースの結果はHMYCのホームページに掲載されています。下のアドレスにアクセスしてください。

<http://www.hmyc.or.jp/hayama/race/index.html> 次に「リザルト」を開きます。成績表はレース翌日の月曜日の午後、遅くとも火曜日までにはアップされます。以下、この成績表の見方を上から説明します。赤字の上から下、左から右を説明します。

	スタートタイム	距離	風速域
#1R			
#2R			

スタートタイム：審判艇が記録した実際にスタートした時刻です。

距離：スタートマークと上マークの直線距離から計算しています。

#1R(第1レース)は2周ですから上下のレグの距離×4、#2Rは2.5周ですから×5です。アバウトですので目安とお考えください。

風速域：レース日の風速を計測して決めています。数字が大きいほど風速の強い日とお考えください。風速10ノット以下ですと1~2、10-20位ですと、2~3です。20ノット以上だと3以上になります。後で説明するCT(修正時間)を計算する時の主要な係数になります。一般的には風速域が大きいほど小型艇には有利で、トラブルなく回りきれば1桁の上位が期待できます。反対に軽風、微風ほど不利になります。これまでの経験ですとSUNRISE IIには特にその影響が大きいようです。

順位	艇名	Sail No.	型式	Home	Rating	#1 F. T.	#1 着順	#1 CT	#1 Pt.	#2 F. T.	#2 着順	#2 CT	#2 Pt.	T Pnt.	G Pnt.

順位：当日のレースの総合成績に基づく順位です。

Sail No.：各艇の固有のナンバーで「財団法人 日本セーリング連盟」(JSAF)に登録した番号です。各艇のセールに書かれています。「JP」を冠すると世界に唯一の識別番号になります。

型式：航空機・自動車・ボート・機械などで、特定の構造や外形などによって分類される型。モデル。

Home：ホームポートの略で艇の戸籍です。因みにHmは「葉山マリーナ」の略称です。

Rating：各艇の艇速性能を表す係数です。大きいほど早い艇です。これにより異なる能力の艇が競っても、CT=修正タイムにより、公平な順位が出るよう設定されています。HMYCのレース参加艇でSUNRISE II(6.70)に近いレーティングを持つのはFellows、Hobby Hawk(6.60)です。彼らに勝つには最悪でも先にフィニッシュしなくてはなりません。

#1FT：第1レースのフィニッシュタイム。ゴールした時の時刻です。スタート時刻から引き算をすれば所要時間が求められます。

#1CT：スタートからフィニッシュまでの所要時間にRating、距離、風速域等を掛け合わせて出した「修正時間」です。小さいほど良い成績になります。計算上の時間なのでマイナスも出てきます。これに基づき「修正順位」が決まります。

#1Pt.：修正順位はポイント化されます。1位は0.75、2位以下は修正順位と同一、OCS艇(スタートが早過ぎた。或いはスタート手順に従わなかった)、DNS艇(参加確認されたがスタートしなかった)、DNF艇(フィニッシュしなかった)は参加艇数+1、DSQ艇(失格)は参加艇数+2点の得点となります。

T Pnt.：#1レースと#2レースのポイントの合計数字で小さいほど上位になります。成績表はこれに基づき1位から順に並べられます。

G pnt.：当日の総合順位に基づくポイントです。何故、順位が出ているのに更にポイント化されているのかと言うと、HMYCの年間成績を決めるためです。HMYCでは年間22レースを行なっていますが、各艇の上位17レースの成績の合計ポイントで争われます。当然ポイントが一番少ない艇が優勝と言うことになります。また、グレード1のレースは通常のポイントの更に1/2になっています。順位が**印になっているのは外来艇で葉山ポイントが必要ないため除外されています。このあたりの詳細は「2008年HMYCクルーザーレース帆走指示書」を参照してください。

以上